



英語で学ぶ

イノベ教育
バイリンガル

英語×日本語

国際
文化

米国Wisconsin州立大学Platteville校
米国Kentucky州立大学学術教育協力校

IEC 学校法人 国際文化教養大学校
(旧名:IEC熊本国際大学校)

**IEC International College of
Culture & Education**

グローバル社会日本に必要な人材

IEC国際文化教養大学の使命は、グローバル社会の中で必要とされる実践英語能力と日本独特の伝統文化知識を与え、多様性文化国の人々とのビジネスに結果の出せる人材を**世界の企業に送り出す**ことにあります。

目次

グローバル社会日本に必要な人材	P. 1
IEC国際文化教養大学の使命	P. 3
文化芸術エリート育成カリキュラムの特徴	P. 6
短期集中技能習得	P. 7
学科情報	P. 9
国際文化芸術学科(2年)	
国際英語教育学科(2年・4年)	
入試情報	P.19
外国人正規留学生への御案内	P.21
奨学金情報	P.22
沿革	P.23
卒業生就職・進路先概略	P.26

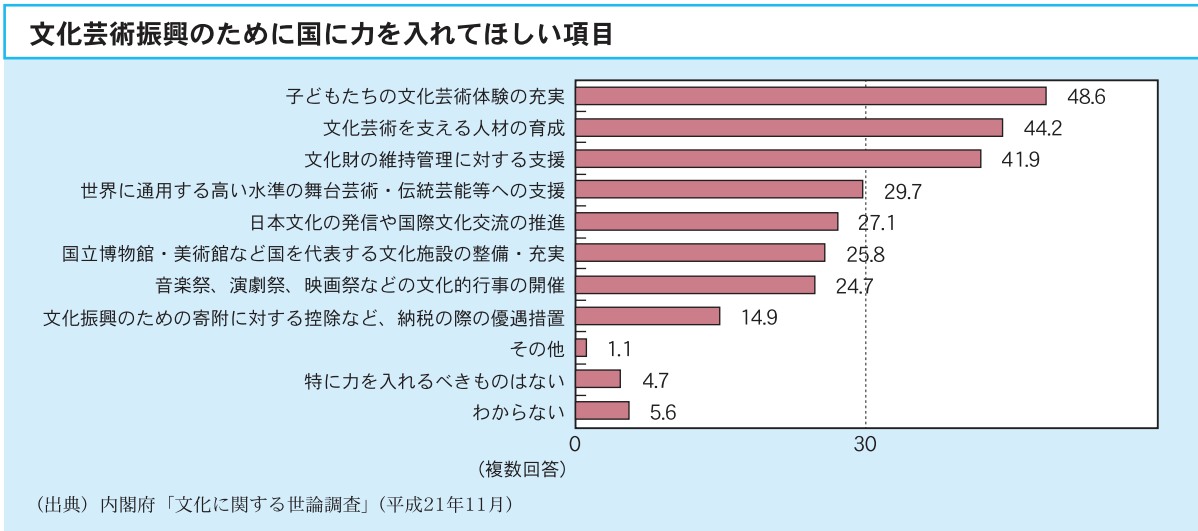


実践英語能力と日本伝統文化知識

世界の人々が混じり合い仕事をする中で、最も不可欠な知識はコミュニケーション能力です。意志の疎通が十分に出来なければ、グローバル企業で働くことは不可能と言えます。日本人としての自覚と伝統文化を学ぶことで、多様性文化社会の成功者の一人となり得ます。



IEC 国際文化教養大学校は、日本政府の最重要課題の一つである「文化芸術立国」を実現するために生まれた、英語習得希望者限定の文化芸術エリート育成校です。



内閣府「文化に関する世論調査」によると、文化芸術振興のために国に力を入れてほしい事項として、約5割の国民が「子供たちの文化芸術体験の充実」を挙げています。それに次いで、約4割の国民が「文化芸術を支える人材の育成」、「文化財の維持管理に対する支援」を挙げています。

文化芸術 × 英語

日本で唯一無二の文化芸術エリート人材育成教育機関

IEC国際文化教養大学校の理念 / Elite Human Resource Development Philosophy

自身の心を豊かにし、自身を自由にし、国際社会へのチャレンジを可能とする真の国際人材育成を行います。日本の伝統文化と英語を通じて知見求め、品位と人格、そして教養を高め、次世代の国際社会で活躍する人材を育成する。これがIEC国際文化教養大学校の教育です。

We strive to develop truly international professionals who can be independent and take on challenges in the international community. The Traditional Liberal Arts (TLA) education that the International College of Liberal Arts aspires to is an education that provides knowledge through traditional Japanese culture as well as English study, enhances dignity, character, and education, and nurtures future members of international society who will play an active role in the next generation.

なぜ「教養」なのか？ / Why you need a “Professional Education”

変化のスピードが激しい現代においては、目の前の事象に翻弄されることなく、その背後に流れる物事の本質を捉える目こそ重要であり、それを磨く事ができるのが教養です。

In today's fast-paced ever-changing world, it is important not to be overwhelmed by the events confronting us, but rather to be able to understand the essence of past interactions that shape the present. We need to stop to examine these situations and draw on the experiences of our hearts and on our education to make progress.

IEC国際文化教養大学校の使命

International College of Culture and Education has a unique set of Important Objectives



礼儀 / Manners

Manners make the man (礼儀が人を作る) 生まれや育ちは関係なく、きちんとした言葉使い、丁寧な敬意ある挙動こそがその人の人格や能力を作り上げる。これは私たち人間が先ず学び習得しなければならないものです。

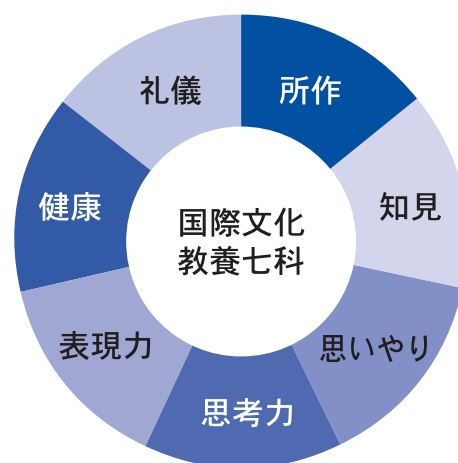
所作 / Comportment

所作は、人間の内面を映し出す鏡のようなもの。美しい所作は人々に安らぎを与えます。

所作は見た目や形だけをよくなるものではありません。自分を洗練させることを「所作を整える」といいます。所作が乱れていると呼吸も浅く乱れやすくなり、感情に振り回されやすく、頭の冴えにもムラが出てミスしやすくなります。

所作が乱れば力みも多くなり疲れやすく、体を痛めやすく、寝ても体調が悪いということになります。些細な動きが自身の心身をつくるのです。疲れを感じず思考をクリアにし、仕事と遊びの量と質を両立させたいとき、所作を整えるということが必須の力となるのです。

Comportment, how you conduct yourself, is a mirror that reflects your inner world as a human being. Considerate gestures give others peace of mind and form the basis of etiquette. Comportment, however, is not just about improving your appearance or reputation. Improving yourself is adjusting your comportment. If your inner self is disturbed, your breathing will be shallow and easily upset, you will be easily swayed by your emotions, and your mental clarity will be uneven, making it easier to make mistakes. If your comportment is disturbed, you will feel strained, tire easily, be prone to injury, and feel unwell even when you sleep. Small movements affect your own mind and body. When you want to keep your thoughts clear without feeling tired, and balance the quantity and quality of your work and play, it is essential to keep your comportment.



知見（言葉・歴史・文化・精神） / Knowledge (language, history, culture, spirit)

単なる知るという知識ではなく、実際に見聞き、体験し触れ、自分自身の意見や見識を持つことが「知見」です。あらゆる物事に対して知見を求めることが自分自身を豊かにします。

“Knowledge” is not just the awareness of information, but actually seeing, hearing, experiencing, touching, and having your own opinions and insights which lead to true comprehension and wisdom. Seeking knowledge about all things enriches you. Having adequate knowledge gives you a firm foundation for making decisions.

思いやり（相手を思う気持ち） / Compassion

常に相手を気遣い、思いやる「利他」の精神こそが、社会の幸福を追求する根源です。思いやりの原点は自分を知ることです。自分のことを知ることになれば他人を思いやる事が出来るようになります。何故なら自分を大切に出来る人でないと他人を大切に出来ないからです。自分を知らなければ自分を大切に出来ません。自分をよく知り、相手に思いやりを持てるようになれば、相手のことも考えられるようになります。

The spirit of altruism, caring for others, and empathy, the ability to identify with or understand another's situation or feelings, are the roots of the pursuit of happiness in society. The starting point of compassion is knowledge of self. When you do not know yourself, you are unable to take care of yourself and therefore are less able to relate to and take care of others. If you know yourself well and can be compassionate, you will be able to think about the feelings of others and to work with them.

思考力 / Thinking

決断の連続の人生の中で、現在はインターネットの台頭で情報に溢れ、また旧態依然の詰め込み教育環境で、人間の思考力は衰退の一途をたどっています。自身の可能性を最大限引き出すために必要なのは「思考力」です。また、今後、受験で上記の詰め込み教育の代表とされる選択式から記述式回答を多く導入し思考力を問う時代に突入しようとしています。だからこそ、自身の可能性を引き出し、高めるために必要な思考力が重要視されます。

In trying to make decisions in our lives, we are now overwhelmed with information due to the rise of the internet. In the traditional Japanese cram-school environment, the value placed on independent thinking is steadily declining. However, to maximize your potential you need “thinking”. In addition, in the future, we are about to enter an era in which many examinations use the multiple-choice method, which is considered to be the representative of the above-mentioned cramming education, in exams to test thinking ability. This is not the case. Questions that apply thought to solve problems will enhance critical thinking, and that is why the ability for clear, critical thought is emphasized to bring out and enhance your own potential.

表現力 / Power of Expression

「表現力」とは、決して「芸術的な能力」や想像力だけに限るものではありません。ビジネスシーンにおいても、日常生活においても「表現力」は必要です。「表現力」を鍛え、それを実際に活かすことは、私たちが相手に何かを的確に伝えるための必須条件になります。なぜなら、私たちは社会生活を送るうえで必ず「誰かに」、「何かを」伝えなければならないからです。

“Expressive power” is not limited to “artistic ability” or “imagination”. We must always communicate ideas to “someone” about “something” in order to live a social life. “Expressive power” is necessary both in business fields and in everyday life. It is essential for you to convey ideas accurately to other people by developing and consistently using skillful communication.

健康 / Health

健康は人生を歩むうえで、不可欠な要素です。健康でなければ、国際教養大学校が掲げる「国際教養文化七科」が成就できません。また、健康を維持することを通じて、人間の身体、食文化、農業、医療といった分野にまで知見を深めることができます。

Health is an essential part of life. If you are not healthy, you will not be able to achieve the “six objectives of education and culture.” In addition, through maintaining good health, you can deepen your knowledge in fields such as anatomy, food culture, agriculture, and medicine.



文化芸術エリート育成カリキュラムの特徴 Cultural and Artistic Programs

日本古来の文化芸術継承者と海外教育プロフェッショナルからの教鞭
Inheritors of ancient Japanese culture and arts, Education experts from overseas traditions

伝統文化継承者と海外教育専門指導者

- ・ 一般教養レベルから専門分野までの授業。
Classes ranging from general/educational level to specialized fields
- ・ 英語による異文化授業。
Intercultural classes in English
- ・ 伝統継承者からの授業。
Lessons from traditional successors
- ・ 海外姉妹大学との国際文化交流。
International cultural exchange with overseas sister universities



各種国内国際イベントへの参画

Participation in various domestic and international events

- ・ 英語暗誦大会、吟詠コンクール等の各種国内イベントへの参加や英語研究学会、伝統文化芸能コラボレーションイベント等への参加と国際交流。

Participation in various domestic events such as English recitation competitions, Shi-gin singing competitions, English research conferences, in traditional culture and performing arts collaboration events, and in an international exchange program.



短期集中技能習得

東京都内にあるパートナーIT候補企業の実績データによりますと、80%が「プログラミング未経験」からエンジニア転職を実現しています。

この事からも分かる通り、**未経験**でも、エンジニア職を実現できる枠組みがあるのです。

目的は、**文化芸術エリートとして人生を送ること**です。それを実現する為に、ITエンジニアとして生計を立て、しかもITエンジニアとは、日本、世界どこにいても仕事を得ることができますので、地元、東京都内など、場所を選ばず働きながら、目的である、文化芸術エリートとして人生を送ることが可能となるのです。



ITエンジニアプログラミング教育を最短で習得しますが、このプログラミング教育終了とともに**就職活動**へと進みます。

卒業後都内で就職するか、地元で就職するかの選択は、もちろん学生一人一人の判断に委ねられます。

多くの多国籍型ビジネス社会でのコミュニケーションスタイルは、日本スタイルとは大きく異なり、グローバル流に替える必要があります。スピーチひとつにしても日本語から英語へ。そして諸外国人達との話し方にも理解される方法をとらなければ、仕事は、進まず「異文化障害」を起こします。このような国際的問題にもIECは取り組み指導をしています。

また、専門科目に特化するだけでなく、企業に必要とされる人材となるよう、教養という多くの枝葉を持つ一本の木のような学習も提供しています。



実践英語能力と伝統文化技能を習得

“英語を極める事で可能性は無限大に”

英語を極める事で、幅広い就職先へ可能性は開かれます。

当校は、東京都内外資系複数人事担当者とのパイプを持ち、英語を話すことができる新卒者の応募は、総務ポジション、人事ポジション、エグゼクティブアシスタントポジション、マーケティングポジション、セールスポジション、カスタマーサービスポジション、などへの紹介が可能となります。



また、通訳者、翻訳者といった、フリーランスベースの働き方も可能となります。

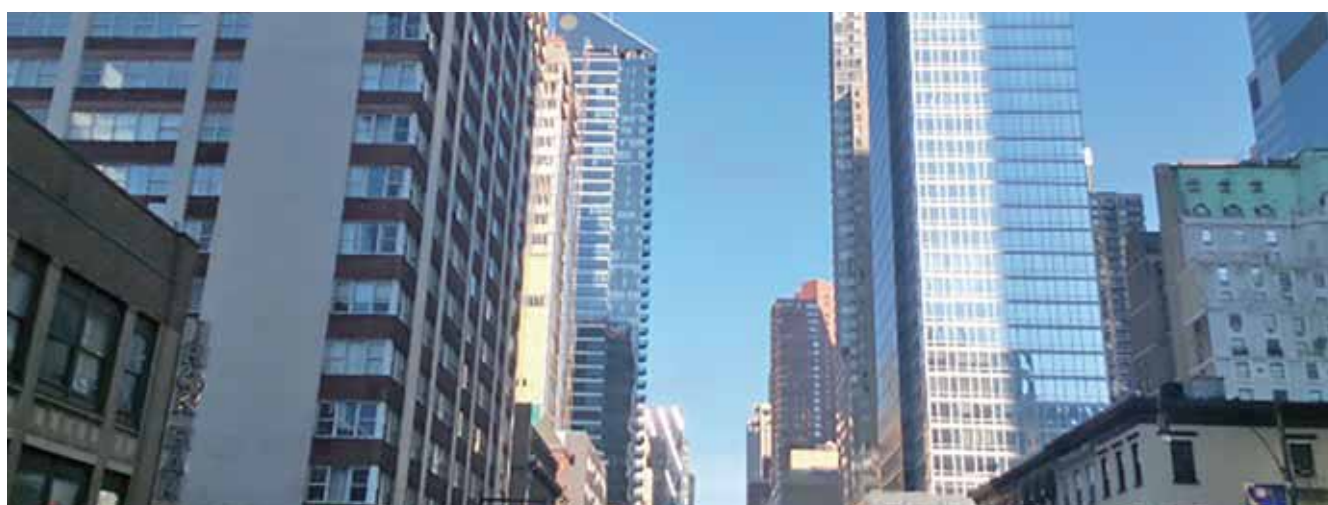
“海外留学を実現し日本文化を世界へ”

当校は米国大学進学への推奨も実施しています。その理由は、日本から世界へ足を踏み入れることで、日本国内では考えもしなかった、全く見えなかった光景、文化、価値観が飛び込んでくるからです。これこそが日本伝統文化と海外の文化の違いを認識し、日本伝統文化の貴重さ、尊さを実感できる学びとなります。



当校は姉妹校として**米国ウィスコンシン州立大学**、学術提携校として**ケンタッキー州立大学**と、長年学術交流を行ってきました。

人生の中で、海外留学を実現できる機会というのは、学生の時期を逃すとなかなか難しい現状があります。だからこそ、当校に通う生徒には、そのチャンスを掴んで欲しいと我々は思っています。そして海外留学へ進む事で、学びだけでなく、**海外への文化芸術を広める橋渡し**にもなり、そこからの可能性は限りなく広がるのは間違いありません。



国際文化芸術学科 / Studies of International Culture and Arts

2年課程 / 2 year course 文部省告示第84号 称号「専門士」国家公務員一般受験資格取得

日本政府が力を入れる「文化芸術立国」

あなたごその実現のために巣立つ場がここにあります。

英語コミュニケーションと同時に学ぶのが、日本伝統文化分野です。

日本伝統文化の真なるもの、哀歓に触れ、知恵や勇気、善なる心が湧き、美なるものに感動する心を育成します。

英語コミュニケーション科目を通しての、日本の美しい言葉と心、その背景にある歴史と伝統文化、精神文化を学び日本の歴史に触れる機会を提供し、教養を育むことを目的としています。



Becoming a “culture and art nation” is a current focus emphasized by the Japanese government. Here you can make it happen. Traditional Japanese culture is studied at the same time as English communication. Experience the true essence of traditional Japanese culture through experiencing the joy, sorrow, wisdom, courage, and goodwill felt through participation, while developing a heart moved by beauty. Through English communication courses, we aim to provide opportunities to learn about the beautiful language and spirit of Japan, as well as the history, traditional culture, and spiritual foundations, and to nurture education by providing opportunities to come into contact with Japanese history.



国際文化芸術学科 2年課程 必修・選択科目について

国際文化芸術学科（2年課程）											
授業科目	第一学年					授業科目	第二学年				
	必選 の別	単位 数	週 授業 時数	年間 授業 時数	年間 授業 時数		必選 の別	単位 数	週 授業 時数	年間 授業 時数	年間 授業 時数
前 期 (Spring Semester)					前 期 (Spring Semester)						
日本伝統芸術論	I	必	1	2	30	日本伝統芸術論	III	必	1	2	30
世界伝統芸術論	I	必	1	2	30	世界伝統芸術論	III	必	1	2	30
日本文化武道演習	I	必	1	2	30	日本文化武道演習	III	必	1	2	30
吟詠実践	I	必	1	2	30	吟詠実践	III	必	1	2	30
書道実践	I	必	1	2	30	書道実践	III	必	1	2	30
尺八実践	I	必	1	2	30	尺八実践	III	必	1	2	30
実践英会話	I	必	2	4	60	実践英会話	III	必	2	4	60
英語通訳実践	I	必	1	2	30	英語通訳実践	III	必	1	2	30
ビジネスマナー論	I	必	1	2	30	ビジネスマナー論	III	必	1	2	30
P C 技能実務演習	I	必	1	2	30	P C 技能実務演習	III	必	1	2	30
小論文研究	I	必	1		40	小論文研究	III	必	1		40
						就職活動		必	1		30
華道実践	A	選 択 必 修	2	4	60	華道実践	C	選 択 必 修	2	4	60
茶道実践	A					茶道実践	C				
琴道実践	A					琴道実践	C				
着付け実践	A					着付け実践	C				
英語構文	A					英語構文	C				
前期の合計			14	26	430	前期の合計			15	26	460
後 期 (Fall Semester)					後 期 (Fall Semester)						
日本伝統芸術論	II	必	1	2	30	日本伝統芸術論	IV	必	1	2	30
世界伝統芸術論	II	必	1	2	30	世界伝統芸術論	IV	必	1	2	30
日本文化武道演習	II	必	1	2	30	日本文化武道演習	IV	必	1	2	30
吟詠実践	II	必	1	2	30	吟詠実践	IV	必	1	2	30
書道実践	II	必	1	2	30	書道実践	IV	必	1	2	30
尺八実践	II	必	1	2	30	尺八実践	IV	必	1	2	30
実践英会話	II	必	2	4	60	実践英会話	IV	必	2	4	60
英語通訳実践	II	必	1	2	30	英語通訳実践	IV	必	1	2	30
ビジネスマナー論	II	必	1	2	30	ビジネスマナー論	IV	必	1	2	30
P C 技能実務演習	II	必	1	2	30	P C 技能実務演習	IV	必	1	2	30
小論文研究	II	必	1		40	小論文研究	IV	必	1		40
						就職活動		必	1		40
華道実践	B	選 択 必 修	2	4	60	華道実践	D	選 択 必 修	2	4	60
茶道実践	B					茶道実践	D				
琴道実践	B					琴道実践	D				
着付け実践	B					着付け実践	D				
英語構文	B					英語構文	D				
後期の合計			14	26	430	後期の合計			15	26	470
年間合計(必修のみ)			28	52	860	年間合計(必修+選択必修)			30	52	930

国際文化芸術学科 2年課程

Studies of International Culture and Arts (2 year course)

Becoming a “culture and art nation” is a current focus emphasized by the Japanese government. Here you can make it happen.

Traditional Japanese culture is studied at the same time as English communication. Experience the true essence of traditional Japanese culture through experiencing the joy, sorrow, wisdom, courage, and goodwill felt through participation, while developing a heart moved by beauty. Through English communication courses, we aim to provide opportunities to learn about the beautiful language and spirit of Japan, as well as the history, traditional culture, and spiritual foundations, and to nurture education by providing opportunities to come into contact with Japanese history.

(Spring) First Semester Course Subjects	Freshman Year				(Spring) First Semester Course Subjects	Sophomore Year			
	Required Subjects	Number of Credits	Class hours/ week	Class hours/ Semester		Required Subjects	Number of Credits	Class hours/ week	Class hours/ Semester
Japanese Culture & Arts 1	Req.	1	2	30	Japanese Culture & Arts 3	Req.	1	2	30
International Culture & Arts 1	Req.	1	2	30	International Culture & Arts 3	Req.	1	2	30
Japanese Culture & Martial Arts 1	Req.	1	2	30	Japanese Culture & Martial Arts 3	Req.	1	2	30
Japanese Culture of Shigin 1	Req.	1	2	30	Japanese Culture of Shigin 3	Req.	1	2	30
Calligraphy 1	Req.	1	2	30	Calligraphy 3	Req.	1	2	30
Japanese bamboo flute 1	Req.	1	2	30	Japanese bamboo flute 3	Req.	1	2	30
English Communication1	Req.	2	4	60	English Communication3	Req.	2	4	60
English Interpretation 1	Req.	1	2	30	English Interpretation 3	Req.	1	2	30
Cultural Dimensions of Business Communications 1	Req.	1	2	30	Cultural Dimensions of Business Communications 3	Req.	1	2	30
PC practical training 1	Req.	1	2	30	PC practical training 3	Req.	1	2	30
Thesis Research 1	Req.	1		40	Thesis Research 3	Req.	1		40
					Job Seeking	Req.	1		30
Flower arrangement A	Ele Req.	2	4	60	Flower arrangement C	Ele Req.	2	4	60
Tea Ceremony A					Tea Ceremony C				
English Structure A					English Structure C				
Kimono (Dressing) A					Kimono (Dressing) C				
Special Seminar A					Special Seminar C				
(Spring) First Semester Total		14	26	430	(Spring) First Semester Total		15	26	460

Req.=Required Subjects *Ele. Req.=Elective Required Subjects *Int Cul. Geography=International Cultural Geography

(Fall) Second Semester Course Subjects	Freshman Year				(Fall) Second Semester Course Subjects	Sophomore Year			
	Required Subjects	Number of Credits	Class hours/ week	Class hours/ Semester		Required Subjects	Number of Credits	Class hours/ week	Class hours/ Semester
Japanese Culture & Arts 2	Req.	1	2	30	Japanese Culture & Arts 3	Req.	1	2	30
International Culture & Arts 2	Req.	1	2	30	International Culture & Arts 3	Req.	1	2	30
Japanese Culture & Martial Arts 2	Req.	1	2	30	Japanese Culture & Martial Arts 3	Req.	1	2	30
Japanese Culture of Shigin 2	Req.	1	2	30	Japanese Culture of Shigin 3	Req.	1	2	30
Calligraphy 2	Req.	1	2	30	Calligraphy 3	Req.	1	2	30
Japanese bamboo flute 2	Req.	1	2	30	Japanese bamboo flute 3	Req.	1	2	30
English Communication2	Req.	2	4	60	English Communication3	Req.	2	4	60
English Interpretation 2	Req.	1	2	30	English Interpretation 3	Req.	1	2	30
Cultural Dimensions of Business Communications 2	Req.	1	2	30	Cultural Dimensions of Business Communications 3	Req.	1	2	30
PC practical training 2	Req.	1	2	30	PC practical training 3	Req.	1	2	30
Thesis Research 2	Req.	1		40	Thesis Research 3	Req.	1		40
					Job Seeking	Req.	1		40
Flower arrangement B	Ele Req.	2	4	60	Web Specialist Course 1	Ele Req.	2	4	60
Tea Ceremony B					Design Specialist Course 1				
English Structure B					Application Specialist Course 1				
Kimono (Dressing) B					Java Specialist Course 1				
Special Seminar B					Ruby Specialist Course 1				
(Fall) First Semester Total		14	26	430	(Fall) First Semester Total		15	26	470
Grand Total (Required)		28	52	860	Grand Total (Req.+Ele.)		30	52	930

Req.=Required Subjects *Ele. Req.=Elective Required Subjects *Int Cul. Geography=International Cultural Geography

国際英語教育学科 / International English Teaching Studies

* 2年課程 / 2 year course 文部省告示第84号 称号「専門士」取得

国家公務員一般受験資格取得

* 4年課程 / 4 year course 文部省告示第84号 称号「高度専門士」取得

国家公務員総合職・専門職・一般受験資格・大学院受験資格

英語指導に絶対の自信を持つ育成プログラムの提供

どんなに英語が話せない人でも、1年もアメリカに住むと英語が話せるようになります。当校では入学時に英語力は問いません。なぜなら本人のやる気次第で、日本にいても英語を話せるようになるからです。

当校は、46年前に設立し、夜間部生から全日生まで多くの学生が国内外で英語技能を用いて活躍しています。

英語を話す人材がいかに現場に必要とされているか

グローバル化により、経済的には国内市場と海外市場の境目がなくなり、労働力も海外から調達できる時代が来ています。逆に、日本企業が海外市場に進出するスピードも加速する一方で、英語を話す人材の確保が、各グローバル企業で求められている事は紛れもない事実なのです。

当校が誇る英語特別育成プログラム 『3秒の壁』バイリンガル通訳指導

とにかく飽きずに学習出来る。これが『3秒の壁』の凄さです。飽きるという語学学習の永遠のテーマを打ち破ったこの英語育成プログラムは、通訳教材にも取り入れられる程です。英語を話せるようになる事は、難しくありません。全くの初心者から実践会話能力が身に付くこのプログラムで、学生は必ず飛躍することでしょう。

We provide a training program that gives students absolute confidence in teaching English. No matter how poorly you speak English at the beginning of your studies, you will be able to speak English after living in the United States for a year. English proficiency is not required to enroll at our school, since you will be able to speak English even while studying only in Japan. Our school was established 45 years ago and many students, from night students to full-time students, are active in Japan and overseas using their English skills. English speakers are needed in many fields because with globalization, the economic boundary between domestic and overseas business has disappeared, and even labor is being procured from overseas. With the speed at which Japanese companies enter overseas markets accelerating, it is an undeniable fact that each company is required to secure English speaking personnel. Our school boasts a special English training program, the "three-second wall," which achieves impressive results. This English development program, which breaks the typical boredom of language learning, is even incorporated into interpreting teaching materials. Being able to speak English is not difficult. Students, even complete beginners, are sure to make great strides in this program to acquire practical conversation skills. Spring Semester *The following are the same course subjects as Fall Semester

国際英語教育学科 / International Studies of English Education

2年課程 2 year course 必修・選択科目

国際英語教育学科 (2年課程)											
授業科目	第一学年					授業科目	第二学年				
	必選 の別	単 位 数	週 授 業 時 数	年 間 授 業 時 数	必選 の別		単 位 数	週 授 業 時 数	年 間 授 業 時 数		
前 期 (Spring Semester)					前 期 (Spring Semester)						
ビジネス英語	I	必	2	4	60	ビジネス英語	III	必	2	4	60
英語通訳法	I	必	1	2	30	英語通訳法	III	必	1	2	30
実践英語用法	I	必	1	2	30	実践英語用法	III	必	1	2	30
英語構文	I	必	1	2	30	英語構文	III	必	1	2	30
英語プレゼンテーション論	I	必	1	2	30	英語プレゼンテーション論	III	必	1	2	30
TOEIC	I	必	1	2	30	TOEIC	III	必	1	2	30
スピーチプレゼンテーション論	I	必	1	2	30	国際関係学	II	必	1	2	30
異文化コミュニケーション論	I	必	1	2	30	異文化コミュニケーション論	III	必	1	2	30
スペシャルセミナー	I	必	1	2	30	スペシャルセミナー	III	必	1	2	30
P C 技能実務演習	I	必	1	2	30	P C 技能実務演習	III	必	1	2	30
小論文研究		必	1		40	小論文研究	III	必	1		40
吟詠実践	A	選 択 必 修	2	4	60	吟詠実践	C	選 択 必 修	2	4	60
日本伝統文化論	A					日本伝統文化論	C				
日本伝統文化実践演習	A					日本伝統文化実践演習	C				
日本武道実践演習	A					日本武道実践演習	C				
前期の合計			14	26	430	前期の合計			14	26	430
後 期 (Fall Semester)					後 期 (Fall Semester)						
ビジネス英語	II	必	2	4	60	ビジネス英語	IV	必	2	4	60
英語通訳法	II	必	1	2	30	英語通訳法	IV	必	1	2	30
実践英語用法	II	必	1	2	30	実践英語用法	IV	必	1	2	30
英語構文	II	必	1	2	30	英語構文	IV	必	1	2	30
英語プレゼンテーション論	II	必	1	2	30	英語プレゼンテーション論	IV	必	1	2	30
TOEIC	II	必	1	2	30	TOEIC	IV	必	1	2	30
国際関係学	I	必	1	2	30	国際関係学	IV	必	1	2	30
異文化コミュニケーション論	II	必	1	2	30	異文化コミュニケーション論	IV	必	1	2	30
スペシャルセミナー	II	必	1	2	30	スペシャルセミナー	IV	必	1	2	30
P C 技能実務演習	II	必	1	2	30	P C 技能実務演習	IV	必	1	2	30
小論文研究	II	必	1		40	小論文研究	IV	必	1		40
吟詠実践	B	選 択 必 修	2	4	60	吟詠実践	D	選 択 必 修	2	4	60
日本伝統文化論	B					日本伝統文化論	D				
日本伝統文化実践演習	B					日本伝統文化実践演習	D				
日本武道実践演習	B					日本武道実践演習	D				
後期の合計			14	26	430	後期の合計			14	26	430
年間合計(必修のみ)			28	52	860	年間合計(必修+選択必修)			28	52	860

国際英語教育学科 2年課程

International Studies of English Education (2 year course)

(Spring) First Semester Course Subjects	Freshman Year				(Spring) First Semester Course Subjects	Sophomore Year			
	Required Subjects	Number of Credits	Class hours / week	Class hours / Semester		Required Subjects	Number of Credits	Class hours / week	Class hours / Semester
Business English 1	Req.	2	4	60	Business English 3	Req.	2	4	60
English Interpretation with Phonetics 1	Req.	1	2	30	English Interpretation with Phonetics 3	Req.	1	2	30
English Grammar 1	Req.	1	2	30	English Grammar 3	Req.	1	2	30
English Structure 1	Req.	1	2	30	English Structure 3	Req.	1	2	30
English Reading Skills 1	Req.	1	2	30	English Reading Skills 3	Req.	1	2	30
TOEIC 1	Req.	1	2	30	TOEIC 3	Req.	1	2	30
Speech Presentation 1	Req.	1	2	30	Speech Presentation 3	Req.	1	2	30
Cultural Dimensions of Communications 1	Req.	1	2	30	Cultural Dimensions of Communications 3	Req.	1	2	30
Special Seminar 1	Req.	1	2	30	Special Seminar 3	Req.	1	2	30
PC Skills 1	Req.	1	2	30	PC Skills 3	Req.	1	2	30
Thesis Research 1	Req.	1		40	Thesis Research 3	Req.	1		40
Japanese Cul. of Shigin A	Ele. Req.	2	4	60	Japanese Cul. of Shigin C	Ele. Req.	2	4	60
Japanese Cul. of Flower arrangement A					Japanese Cul. of Flower arrangement C				
Japanese Cul. of Calligraphy A					I Japanese Cul. of Calligraphy C				
Japanese Cul. of Martial Art A					Japanese Cul. of Martial Art C				
Total		14	26	430	Total		14	26	430

*Req.=Required Subjects *Ele. Req.=Elective Required Subjects *Int Cul. Geography=International Cultural Geography

(Fall) Second Semester Course Subjects	Freshman Year				(Fall) Second Semester Course Subjects	Sophomore Year			
	Required Subjects	Number of Credits	Class hours / week	Class hours / Semester		Required Subjects	Number of Credits	Class hours / week	Class hours / Semester
Business English 2	Req.	2	4	60	Business English 4	Req.	2	4	60
English Interpretation with Phonetics 2	Req.	1	2	30	English Interpretation with Phonetics 4	Req.	1	2	30
English Grammar 2	Req.	1	2	30	English Grammar 4	Req.	1	2	30
English Structure 2	Req.	1	2	30	English Structure 4	Req.	1	2	30
English Reading Skills 2	Req.	1	2	30	English Reading Skills 4	Req.	1	2	30
TOEIC 2	Req.	1	2	30	TOEIC 4	Req.	1	2	30
Speech Presentation 2	Req.	1	2	30	Speech Presentation 4	Req.	1	2	30
Cultural Dimensions of Communications 2	Req.	1	2	30	Cultural Dimensions of Communications 4	Req.	1	2	30
Special Seminar 2	Req.	1	2	30	Special Seminar 4	Req.	1	2	30
PC Skills 2	Req.	1	2	30	PC Skills 4	Req.	1	2	30
Thesis Research 2	Req.	1		40	Thesis Research 4	Req.	1		40
Japanese Cul. of Shigin B	Ele. Req.	2	4	60	Japanese Cul. of Shigin D	Ele. Req.	2	4	60
Japanese Cul. of Flower arrangement B					Japanese Cul. of Flower arrangement D				
Japanese Cul. of Calligraphy B					I Japanese Cul. of Calligraphy D				
Japanese Cul. of Martial Art B					Japanese Cul. of Martial Art D				
Total		14	26	430	Total		14	26	430
Grand Total (Required)		28	52	860	Grand Total (Required)		28	52	860

国際英語教育学科 / International Studies of English Education

4年課程 4 year course 必修・選択科目

国際英語教育学科（4年課程）											
授業科目	第一学年					授業科目	第二学年				
	必選 の別	単 位 数	週 授 業 時 数	年 間 授 業 時 数	必選 の別		単 位 数	週 授 業 時 数	年 間 授 業 時 数		
前 期 (Spring Semester)					前 期 (Spring Semester)						
ビジネス英語	I	必	2	4	60	ビジネス英語	III	必	2	4	60
英語通訳法	I	必	1	2	30	英語通訳法	III	必	1	2	30
実践英語用法	I	必	1	2	30	実践英語用法	III	必	1	2	30
英語構文	I	必	1	2	30	英語構文	III	必	1	2	30
英語プレゼンテーション論	I	必	1	2	30	英語プレゼンテーション論	III	必	1	2	30
TOEIC	I	必	1	2	30	TOEIC	III	必	1	2	30
スピーチプレゼンテーション論	I	必	1	2	30	国際関係学	II	必	1	2	30
異文化コミュニケーション論	I	必	1	2	30	異文化コミュニケーション論	III	必	1	2	30
スペシャルセミナー	I	必	1	2	30	スペシャルセミナー	III	必	1	2	30
P C 技能実務演習	I	必	1	2	30	P C 技能実務演習	III	必	1	2	30
小論文研究		必	1		40	小論文研究	III	必	1		40
吟詠実践	A	選 択 必 修	2	4	60	吟詠実践	C	選 択 必 修	2	4	60
日本伝統文化論	A					日本伝統文化論	C				
日本伝統文化実践演習	A					日本伝統文化実践演習	C				
日本武道実践演習	A					日本武道実践演習	C				
前期の合計					前期の合計						
後 期 (Fall Semester)					後 期 (Fall Semester)						
ビジネス英語	II	必	2	4	60	ビジネス英語	IV	必	2	4	60
英語通訳法	II	必	1	2	30	英語通訳法	IV	必	1	2	30
実践英語用法	II	必	1	2	30	実践英語用法	IV	必	1	2	30
英語構文	II	必	1	2	30	英語構文	IV	必	1	2	30
英語プレゼンテーション論	II	必	1	2	30	英語プレゼンテーション論	IV	必	1	2	30
TOEIC	II	必	1	2	30	TOEIC	IV	必	1	2	30
国際関係学	I	必	1	2	30	国際関係学	IV	必	1	2	30
異文化コミュニケーション論	II	必	1	2	30	異文化コミュニケーション論	IV	必	1	2	30
スペシャルセミナー	II	必	1	2	30	スペシャルセミナー	IV	必	1	2	30
P C 技能実務演習	II	必	1	2	30	P C 技能実務演習	IV	必	1	2	30
小論文研究	II	必	1		40	小論文研究	IV	必	1		40
吟詠実践	B	選 択 必 修	2	4	60	吟詠実践	D	選 択 必 修	2	4	60
日本伝統文化論	B					日本伝統文化論	D				
日本伝統文化実践演習	B					日本伝統文化実践演習	D				
日本武道実践演習	B					日本武道実践演習	D				
後期の合計					後期の合計						
年間合計(必修のみ)					年間合計(必修+選択必修)						

国際英語教育学科（４年課程）											
授業科目	第三学年					授業科目	第四学年				
	必選 の別	単位 数	週 授業 時数	年間 授業 時数	必選 の別		単位 数	週 授業 時数	年間 授業 時数		
前期 (Spring Semester)					前期 (Spring Semester)						
英語国際情報学	I	必	1	2	30	英語国際情報学	III	必	2	4	60
国際地理文化学	I	必	1	2	30	TOEFL	III	必	2	4	60
TOEFL	I	必	2	4	60	TOEIC	VII	必	2	4	60
英語通訳法	V	必	1	2	30	スペシャルセミナー	VII	必	1	2	30
実践英語用法	V	必	1	2	30	卒業論文研究	I	必	4	8	120
英語構文	V	必	2	4	60	小論文研究	VII	必	1		40
TOEIC	V	必	2	4	60	就職活動		必			30
スペシャルセミナー	V	必	1	2	30						
小論文研究	V	必	1		40						
吟詠実践	E	選 択 必 修	2	4	60	吟詠実践	G	選 択 必 修	2	4	60
日本伝統文化論	E					G					
日本伝統文化実践演習	E					G					
日本武道実践演習	E					G					
前期の合計			14	26	430	前期の合計			14	26	460
後期 (Fall Semester)					後期 (Fall Semester)						
英語国際情報学	II	必	1	2	30	英語国際情報学	IV	必	2	4	60
国際地理文化学	II	必	1	2	30	TOEFL	IV	必	2	4	60
TOEFL	II	必	2	4	60	TOEIC	VIII	必	2	4	60
英語通訳法	VI	必	1	2	30	スペシャルセミナー	VIII	必	1	2	30
実践英語用法	VI	必	1	2	30	卒業論文研究	II	必	4	8	120
英語構文	VI	必	2	4	60	小論文研究	VIII	必	1		40
TOEIC	VI	必	2	4	60	就職活動		必			30
スペシャルセミナー	VI	必	1	2	30						
小論文研究	VI	必	1		40						
吟詠実践	F	選 択 必 修	2	4	60	吟詠実践	H	選 択 必 修	2	4	60
日本伝統文化論	F					H					
日本伝統文化実践演習	F					H					
日本武道実践演習	F					H					
後期の合計			14	26	430	後期の合計			14	26	460
年間合計(必修のみ)			28	52	860	年間合計(必修+選択必修)			28	52	920

国際英語教育学科 4年課程

International Studies of English Education (4 year course)

(Spring) First Semester Course Subjects	Freshman Year				(Spring) First Semester Course Subjects	Sophomore Year			
	Required Subjects	Number of Credits	Class hours / week	Class hours / Semester		Required Subjects	Number of Credits	Class hours / week	Class hours / Semester
Business English 1	Req.	2	4	60	Business English 3	Req.	2	4	60
English Interpretation with Phonetics 1	Req.	1	2	30	English Interpretation with Phonetics 3	Req.	1	2	30
English Grammar 1	Req.	1	2	30	English Grammar 3	Req.	1	2	30
English Structure 1	Req.	1	2	30	English Structure 3	Req.	1	2	30
English Reading Skills 1	Req.	1	2	30	English Reading Skills 3	Req.	1	2	30
TOEIC 1	Req.	1	2	30	TOEIC 3	Req.	1	2	30
Speech Presentation 1	Req.	1	2	30	Speech Presentation 3	Req.	1	2	30
Cultural Dimensions of Communications 1	Req.	1	2	30	Cultural Dimensions of Communications 3	Req.	1	2	30
Special Seminar 1	Req.	1	2	30	Special Seminar 3	Req.	1	2	30
PC Skills 1	Req.	1	2	30	PC Skills 3	Req.	1	2	30
Thesis Research 1	Req.	1		40	Thesis Research 3	Req.	1		40
Japanese Cul. of Shigin A	Ele. Req.	2	4	60	Japanese Cul. of Shigin C	Ele. Req.	2	4	60
Japanese Cul. of Flower arrangement A					Japanese Cul. of Flower arrangement C				
Japanese Cul. of Calligraphy A					I Japanese Cul. of Calligraphy C				
Japanese Cul. of Martial Art A					Japanese Cul. of Martial Art C				
Total		14	26	430	Total		14	26	430

*Req.=Required Subjects *Ele. Req.=Elective Required Subjects *Int Cul. Geography=International Cultural Geography

(Fall) Second Semester Course Subjects	Freshman Year				(Fall) Second Semester Course Subjects	Sophomore Year			
	Required Subjects	Number of Credits	Class hours / week	Class hours / Semester		Required Subjects	Number of Credits	Class hours / week	Class hours / Semester
Business English 2	Req.	2	4	60	Business English 4	Req.	2	4	60
English Interpretation with Phonetics 2	Req.	1	2	30	English Interpretation with Phonetics 4	Req.	1	2	30
English Grammar 2	Req.	1	2	30	English Grammar 4	Req.	1	2	30
English Structure 2	Req.	1	2	30	English Structure 4	Req.	1	2	30
English Reading Skills 2	Req.	1	2	30	English Reading Skills 4	Req.	1	2	30
TOEIC 2	Req.	1	2	30	TOEIC 4	Req.	1	2	30
Speech Presentation 2	Req.	1	2	30	Speech Presentation 4	Req.	1	2	30
Cultural Dimensions of Communications 2	Req.	1	2	30	Cultural Dimensions of Communications 4	Req.	1	2	30
Special Seminar 2	Req.	1	2	30	Special Seminar 4	Req.	1	2	30
PC Skills 2	Req.	1	2	30	PC Skills 4	Req.	1	2	30
Thesis Research 2	Req.	1		40	Thesis Research 4	Req.	1		40
Japanese Cul. of Shigin B	Ele. Req.	2	4	60	Japanese Cul. of Shigin D	Ele. Req.	2	4	60
Japanese Cul. of Flower arrangement B					Japanese Cul. of Flower arrangement D				
Japanese Cul. of Calligraphy B					I Japanese Cul. of Calligraphy D				
Japanese Cul. of Martial Art B					Japanese Cul. of Martial Art D				
Total		14	26	430	Total		14	26	430
Grand Total (Required)		28	52	860	Grand Total (Required)		28	52	860

(Spring) First Semester Course Subjects	Junior Year				(Spring) First Semester Course Subjects	Senior Year			
	Required Subjects	Number of Credits	Class hours / week	Class hours / Semester		Required Subjects	Number of Credits	Class hours / week	Class hours / Semester
International Information Science 1	Req.	1	2	30	International Information Science 3	Req.	2	4	60
International Geo-culture 1	Req.	1	2	30	TOEFL 3	Req.	2	4	60
TOEFL 1	Req.	2	4	60	TOEIC 7	Req.	2	4	60
English Interpretation 5	Req.	1	2	30	Special Seminar 7	Req.	1	2	30
English Reading Skills 5	Req.	1	2	30	Graduation Thesis Research 1	Req.	4	8	120
English Structure 5	Req.	2	4	60	Thesis Research 7	Req.	1		40
TOEIC 5	Req.	2	4	60	Job Seeking	Req.			30
Special Seminar 5	Req.	1	2	30					
Thesis Research 5	Req.	1		40					

Japanese Cul. of Shigin E	Ele. Req.	2	4	60	Japanese Cul. of Shigin G	Ele. Req.	2	4	60
Japanese Cul. of Flower arrangement E					Japanese Cul. of Flower arrangement G				
Japanese Cul. of Calligraphy E					I Japanese Cul. of Calligraphy G				
Japanese Cul. of Martial Art E					Japanese Cul. of Martial Art G				
Total		14	26	430	Total		14	26	460

*Req.=Required Subjects *Ele. Req.=Elective Required Subjects *Int Cul. Geography=International Cultural Geography

(Fall) Second Semester Course Subjects	Junior Year				(Fall) Second Semester Course Subjects	Senior Year			
	Required Subjects	Number of Credits	Class hours / week	Class hours / Semester		Required Subjects	Number of Credits	Class hours / week	Class hours / Semester
International Information Science 2	Req.	1	2	30	International Information Science 4	Req.	2	4	60
International Geo-culture 2	Req.	1	2	30	TOEFL 4	Req.	2	4	60
TOEFL 2	Req.	2	4	60	TOEIC 8	Req.	2	4	60
English Interpretation 6	Req.	1	2	30	Special Seminar 8	Req.	1	2	30
English Reading Skills 6	Req.	1	2	30	Graduation Thesis Research 2	Req.	4	8	120
English Structure 6	Req.	2	4	60	Thesis Research 8	Req.	1		40
TOEIC 6	Req.	2	4	60	Job Seeking	Req.			30
Special Seminar 6	Req.	1	2	30					
Thesis Research 6	Req.	1		40					

Japanese Cul. of Shigin F	Ele. Req.	2	4	60	Japanese Cul. of Shigin H	Ele. Req.	2	4	60
Japanese Cul. of Flower arrangement F					Japanese Cul. of Flower arrangement H				
Japanese Cul. of Calligraphy F					I Japanese Cul. of Calligraphy H				
Japanese Cul. of Martial Art F					Japanese Cul. of Martial Art H				
Total		14	26	430	Total		14	26	460
Grand Total (Required)		28	52	860	Grand Total (Req.+Ele.)		28	52	920

入試情報

一般試験情報は、下記の通りとなります。

対象学科（各学科20名）

- 国際文化芸術学科 2年課程（文部省告示第84号 称号「専門士」取得・国家公務員一般職受験資格）
- 国際英語教育学科 2年課程（文部省告示第84号 称号「専門士」取得・国家公務員一般職受験資格）
- 国際英語教育学科 4年課程（文部省告示第84号 称号「高度専門士」取得・国家公務員総合職・専門職・一般職受験資格・大学院受験資格）

入試処遇

	入学金	年間授業料	年間諸経費
一般生	15万円	105万円	10万円
準特待生	15万円	90万円	10万円
特待生	15万円	75万円	10万円

- 海外研修参加費（希望者）

38万円 米国ウィスコンシン州立大学他（1週間）

入試情報（前期課程入学：4月）

受験料	願書締切日	審査・試験日	合格通知日
特待生	令和6年9月～12月	令和6年9月～12月	令和6年9月～12月
一般試験（一次）	令和6年9月30日（月）	令和6年10月5日（土）	令和6年10月10日（木）
一般試験（二次）	令和6年11月1日（金）	令和6年11月9日（土）	令和6年11月14日（木）
一般試験（三次）	令和6年12月2日（月）	令和6年12月7日（土）	令和6年12月12日（木）
一般試験（追加）	令和7年2月3日（月）	令和7年2月7日（土）	令和7年2月12日（木）

特待生（*）－1. 外国人留学生、帰国子女に対する特別試験日程の優遇期間

特待生（*）－2. 書類審査による学費減額または経済的減額支援による試験日程の期間



入試情報（後期課程入学：9月）

受験料	願書締切日	審査・試験日	合格通知日
特待生	令和6年5月～7月	令和6年6月～8月	令和6年6月～8月
一般試験	令和6年7月1日(月)	令和6年7月6日(土)	令和6年7月11日(木)

特待生（*）－1. 外国人留学生、帰国子女に対する特別試験日程の優遇期間

特待生（*）－2. 書類審査による学費減額または経済的減額支援による試験日程の期間

オープンキャンパス

令和6年6月～12月 随時（詳細は事務局に確認）

出願資格

- 現在高等学校3年生で当該年度卒業見込みの者
- 既に高等学校を卒業している者
- 高等学校を卒業した者と同等以上の能力があると認められる者

*上記追加特別奨学金適用試験には、他大学・専門学校等からの編入希望者も含む

選考内容

- 書類審査（高校の調査書、または大学・専門学校の成績証明書）
- 小論文
- 面接

選考手数料

- 選考手数料：3万円

出願書類

- 入学志願書 1通

記入方法は見本参照。

- 写真 3枚

タテ4cm×ヨコ3cm。正面上半身脱帽で背景がなく3ヶ月以内の撮影の写真。
2枚は入学志願書の写真添付欄に添付し、残り一枚は、写真の裏面に氏名を
記入の上、志願書に添えてください。

- 出身校の調査書 1通

入学志願書とは別封をもって、学校長宛親展として封筒に調査書在中と朱書きしてください。





IEC 国際文化教養大学校

IEC International College of Culture & Education

651-1 Hioki-machi, Yatsushiro-shi, Kumamoto-ken 866-0896 Japan
Tel:0965-35-5430 Email:info1@iec-college.ac.jp http://www.iec-college.ac.jp

外国人正規留学入学生への御案内 Information for Foreign Applicants

I. 学科

対象学科 (各学科20名)

- 国際文化芸術学科 2年課程 (文部省告示第84号 称号「専門士」取得・国家公務員一般職受験資格)
- 国際英語教育学科 2年課程 (文部省告示第84号 称号「専門士」取得・国家公務員一般職受験資格)
- 国際英語教育学科 4年課程 (文部省告示第84号 称号「高度専門士」取得・国家公務員総合職・専門職・一般職受験資格・大学院受験資格)

II. 学費

- | | | | |
|---------|-------------|----------------|---------------|
| 1. 一般生 | 1. 入学金 15万円 | 2. 年間授業料 105万円 | 3. 年間諸経費 10万円 |
| 2. 準特待生 | 1. 入学金 15万円 | 2. 年間授業料 90万円 | 3. 年間諸経費 10万円 |
| 3. 特待生 | 1. 入学金 15万円 | 2. 年間授業料 75万円 | 3. 年間諸経費 10万円 |
- *入学審査で優秀生として認められた者に適応

III. 提出書類

1. 高校卒業証明書
2. 日本国入国管理局への提出書類 (本校からの必要書類送付案内)
3. IEC国際文化教養大学校からの志願書 (写真添付)
4. 写真1枚
5. 本人証明書 (パスポートの写し可)



IV. 選考内容

- 書類審査 (高校の調査書、または大学・専門学校の成績証明書)
- 小論文



V. 入学審査及び合格通知

1. 合 否：上記IIの提出書類で審査し合否を決定
2. 合否通知日：提出書類到着後、7日業務日以内に通知
3. 学費等費用：本校通知書に示された指定の期日までに納入
4. 入学案内等：入学オリエンテーション (学則・年間行事・授業・生活・アルバイト等) に関する説明

VI. 学則の厳守 (入学後)

1. 入学を許可されたものに対しては、卒業までに必要な規則 (学則) が渡されます。学則の厳守は、非常に重要です。
2. 各年度前期及び後期において退学処分 (自主退学を含む) に該当した者に対しては、当該学期の授業料・諸経費等の返金は一切できません。

奨学金情報

国内関係

○ 日本学生支援機構

➔ 入学後、本校へお問い合わせください。

◆ 日本政策金融公庫

◆ 労働金庫

◆ 交通遺児育英会

◆ あしなが育英奨学金

➔ お電話でお問い合わせください。

「日本学生支援機構」

日本学生支援機構は、独立行政法人日本学生支援機構法に基づいて平成16年4月に設立され、教育の機会均等に寄与するため学士の貸与その他学生等の就学援助を行うこと等により、社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材の育成に資することを目的としています。奨学金は、経済的理由により就学に困難がある優れた学生等に対し貸与されます。

予約採用：入学前に奨学金を予約する制度です。進学する前に、在籍している高校の奨学金窓口へ申し出てください。

在学採用：毎年春に学校で奨学金の募集を行います。奨学金を希望する方は、本校の奨学金窓口へ申し出てください。

緊急採用／応用採用：家計の急変（主たる家計支持者が失業・病気・会社倒産・死別または離別・災害等）で奨学金を緊急に必要とする場合は、本校の奨学金窓口へ申し出てください。

申込手続：原則として、インターネットを利用して行いますが、「確認書」「所得証明書」等は、本校の奨学金窓口へ提出していただきます。

詳しくは、日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

「日本政策金融公庫」

国の教育ローンは、一年中いつでも承っております。入学時の費用は、合格発表前にお申し込み出来ますので、志望校が決まったときに、在学中の費用は資金が必要になったときに、出来るだけ早くお申し込みください。

ご融資額：一人につき350万円以内

お使用道：

- ・ 学校納付金（入学金、授業料、施設設備費等）
- ・ 受験にかかる費用（受験料、試験日宿泊費）
- ・ 住居にかかる費用（アパートの敷金、家賃等）
- ・ 教材費、通学費用

「その他各種奨学金制度について」

都道府県関係

◆ 各県の育英資金

➔ 入学後、本校へお問い合わせください。

市町村関係

◆ 奨学資金

◆ 母子・寡婦福祉資金貸付金

◆ 社会福祉協議会貸付金

➔ お住まいの市町村教育委員会、または事務所に
お問い合わせください。

IEC 国際文化教養大学校

= 沿革 =

1977年	9月	八代市初の英語専門機関として開校。名称をIEC英会話スクールとする(4日)	1993年	6月	第18回IEC総合英語暗誦大会開催
1978年	5月	第1回IEC総合英語暗誦大会開催	1994年	4月	IEC国際外語学院専門教材の出版
1979年	4月	校名をIEC国際外語学院と改名	6月	第19回IEC総合英語暗誦記念大会開催(TKUテレビ熊本・RKK熊本テレビ・熊本日日新聞社後援)	
	4月	IEC国際外語学院附属幼育学園を設立	7月	イギリス実地英語1ヶ月研修実施	
	4月	八代市内に英会話本町支部教室開設	7月	IEC男子サッカー部天皇杯熊本県大会優勝、九州大会出場	
	7月	第2回IEC総合英語暗誦大会開催	1995年	4月	全日制国際学科2年課程、英文学科4年課程設置、第1期生スタート
1980年	10月	第3回IEC総合英語暗誦大会開催	6月	第20回IEC総合英語暗誦大会開催(TKUテレビ熊本・RKK熊本テレビ・熊本日日新聞社後援)	
4月		全日制ビジネス英語科1年課程設置、English For Elementary Course Students Vol. 1教材発行	10月	文部省認定実用英語技能検定試験合格者110名に達する	
	4月	Listening Comprehension and Translation Works Vol. 1教材発行	1996年	2月	第1回IEC杯熊本県総合高校・大学弁論大会開催(TKUテレビ熊本・RKK熊本テレビ・熊本日日新聞社後援)
	5月	第4回IEC総合英語暗誦大会開催	4月	IEC柔道部設立	
	8月	米国西海岸実地英語研修	6月	第21回IEC総合英語暗誦大会開催	
	9月	第5回IEC総合英語暗誦大会	7月	日米親善国際サッカー大会開催:ニュージャージー州ラットガーズ大学 vs IEC-FC	
1981年	10月	米国州政府依頼:日本企業誘致CMフィルムナレーター	7月	米国フロリダ州英語実地研修	
4月		全日制ビジネス英語科2年課程設置	12月	IEC総合英語暗誦大会に南九州コココーラボトリング社がスポンサーとなる	
6月		「オーラルインタープリテーションを導入した英語教育」研究発表	1997年	4月	全日制国際介護スポーツコミュニケーション学科設置(2年課程)
7月		第6回IEC総合英語暗誦大会開催	4月	全日制国際ビジネス学科4年課程設置、第1期生スタート	
11月		全国大学レベル英語文学作品音声表現フェスティバル全国大会出場にて優勝	4月	米国アーカンソー州立大学にて日本古武道ステージショー(Night Line TV局 North West Arkansas Times 社報道)	
1982年	4月	English For Elementary Course Students Vol. 2教材発行	6月	米国ケンタッキー州立大学生来校(IECにて:IEC-UK文化交流プログラム)	
	7月	第7回IEC総合英語暗誦大会開催	7月	第22回IEC総合英語暗誦大会開催(コカ・コーラカップ)	
1983年	4月	葦北郡田浦町東海カーボン(株)へ英語指導開始	7月	IEC男子サッカー部全国collegeサッカー選手権大会九州予選優勝 全国大会出場権獲得	
	7月	第8回IEC総合英語暗誦大会開催	7月	文部省認定実用英語技能検定試験合格者200名	
1984年	4月	English For Elementary Course Students Vol. 3教材発行	12月	全国大学レベル英語文学作品音声表現フェスティバル全国大会出場にて準優勝	
	4月	IEC男子サッカー部設立	1998年	2月	「第80回全米大学教育会議in San Francisco」でUniversity of Kentuckyと共同研究発表
	7月	第9回IEC総合英語暗誦大会開催	4月	ワールドトラベルビジネス学科、国際エンターテインメントビジネス学科設置	
1985年	4月	Basic English Pronunciation 教材発行	4月	IEC女子サッカー部設立	
	7月	第10回IEC総合英語暗誦大会開催	6月	米国ケンタッキー州立大学生来校(IECにて:IEC-UK文化交流プログラム)	
1986年	4月	English For Elementary Course Students Vol. 4教材発行	7月	第23回IEC総合英語暗誦大会開催(コカ・コーラカップ)	
	6月	日米大学生1200名の異文化考察「時の一般的比較」研究発表	7月	IEC男子サッカー部全国collegeサッカー選手権大会九州予選優勝 全国大会出場権獲得	
	7月	第11回IEC総合英語暗誦大会開催	1999年	4月	全日制国際体育学科設置、第一期生スタート
1987年	4月	八代郡鏡町に熊本電波(株)へ英語指導開始	4月	IEC Jazz Band Club 設立	
	7月	第12回IEC総合英語暗誦大会開催	6月	米国ケンタッキー州立大学生来校(IECにて:IEC-UK文化交流プログラム)	
1988年	4月	八代市内クリニック院長達に個人英語指導開始	7月	第24回IEC総合英語暗誦大会開催(コカ・コーラカップ)	
	7月	第13回IEC総合英語暗誦大会開催	9月	日米姉妹校研修プログラム:ウイスコンシン州立大学、ケンタッキー州立大学にて授業参加、文化・スポーツ	
1989年	7月	第14回IEC総合英語暗誦大会開催	2000年	3月	IEC国際外国語college-Wisconsin州立大学調印式(国際姉妹校)
10月		熊本県立劇場:元NHKシンフォニー楽団指揮者森岡賢一郎チャリティピアノコンサート司会	7月	第25回IEC総合英語暗誦大会開催(コカ・コーラカップ)	
1990年	7月	第15回IEC総合英語暗誦大会開催	7月	IEC男子サッカー部全国collegeサッカー選手権大会九州予選優勝 全国大会出場権獲得	
1991年	4月	English For Elementary Course Students Vol. 5教材発行、Listening Tape 教材Step Up Pack Vol. 1-Vol. 3「3秒の壁」発行	9月	日米姉妹校研修プログラム:ウイスコンシン大学及びシカゴ市にて研修	
	6月	玉名市依頼:“German Regensburg University Orchestra”総司会及び通訳	10月	IEC男子サッカー部全国collegeサッカー選手権大会出場(仙台市)	
	7月	第16回IEC総合英語暗誦大会開催	12月	X'mas実務異文化研修を米国フロリダ州Tampa市で実施	
	8月	小国町依頼:カナダ“Galgary Stampede Show Band”総司会及び通訳	2001年	4月	IEC女子ソフトボール部設立
	8月	八代市依頼:“German Regensburg University Orchestra”総司会及び通訳	6月	米国Kentucky州立大学生来校(IECにて:IEC-UK文化交流プログラム)	
	11月	IEC男子サッカー部韓国遠征、建国大学サッカー部と国際親善試合	7月	第26回IEC総合英語暗誦大会開催(コカ・コーラカップ)	
	12月	IEC男子サッカー部熊本県1部リーグ昇格決定	7月	IEC男子サッカー部全国社会人サッカー選手権大会熊本県予選優勝 九州大会出場権獲得	
1992年	1月	IEC主催国際親善サッカー開催:ブラジル・韓国・IEC三国対抗	8月	IEC女子ソフトボール部全国レディ-ソフトボール選	
	6月	文部省認定実用英語技能検定試験合格者50名			
	6月	第17回IEC総合英語暗誦大会開催			
	7月	国内英語実地研修地を九州圏内に決定			
	7月	玉名市依頼:Oxford大学コーラス総司会及び通訳			
	8月	玉名市依頼:Hersbruck市キリスト教会コーラス“German Jugen der SelneckerkantoreiHersbruck”歓迎式典玉名市長通訳			
1993年	3月	学校法人井本学園IEC国際外国語専門学校としての認可を得る			
	4月	学校法人井本学園IEC国際外国語専門学校設立記念式典及び祝賀会開催			

2001年	8月	手権 全国大会出場権獲得(熊本県優勝) IEC男子サッカー部全国collegeサッカー選手権大会九州予選優勝 全国大会出場権獲得	2005年	11月	第39回全国社会人卓球選手権大会全国大会出場
	9月	IEC女子ソフトボール部全国レディ-ソフトボール選手権大会出場(青森県)		11月	第27回九州ブロックcollege体育大会サッカー3位
	10月	IEC男子サッカー部全国collegeサッカー選手権大会出場(名古屋)		11月	第27回九州ブロックcollege体育大会卓球出場
	11月	第1回IEC-X'masカップ女子ソフトボール大会		12月	第40回熊本県サッカーリーグ全勝優勝
2002年	4月	IEC卓球部設立	2006年	1月	熊本県春季選手権水泳競技大会男子50m背泳4位
	6月	米国ケンタッキー州立大学生来校(IECにて:IEC-UK文化交流プログラム)		3月	第4回米国ケンタッキー州立大学との日米共同会議開催(日本)
	7月	第27回IEC総合英語暗誦大会開催		4月	女子ソフトボール部再スタート
	7月	第38回全国社会人サッカー選手権大会熊本県予選準優勝 九州大会出場権獲得		4月	八代陸上競技選手権女子100mH優勝
	8月	IEC女子ソフトボール部全国レディ-ソフトボール選手権 全国大会出場権獲得(熊本県優勝)		4月	熊本県陸上競技選手権女子7種2位 女子走幅跳3位
	9月	IEC女子ソフトボール部全国レディ-ソフトボール選手権大会出場(富山県)		5月	第42回全国社会人サッカー選手権熊本県予選ベスト16
	11月	第18回全国college卓球選手権大会 男子団体の部第3位 男子シングルス準優勝		5月	熊本県レディ-陸上競技大会女子走幅跳2位
	11月	日米姉妹校研修プログラム:ウイスコンシン大学、ケンタッキー大学、ハワイにて		5月	第77回都市対抗野球熊本県予選出場
	12月	第2回IEC-X'masカップ女子ソフトボール大会開催		6月	米国ケンタッキー州立大学生来校(IECにて:IEC-UK文化交流プログラム)
2003年	2月	IECバトミントン部設立		6月	熊本県ナイター陸上兼国体2次予選女子100mH優勝
	6月	米国Kentucky州Paul E. Patton知事より日米国際教育功労賞受賞		6月	第77回都市対抗野球九州予選出場
	7月	第28回IEC総合英語暗誦大会開催		7月	第31回IEC総合英語暗誦大会開催
	7月	IEC創立25周年記念式典・記念コンサート開催		7月	日本ジュニア陸上競技選手権兼アジアジュニア陸上競技選手権女子7種競技出場
	8月	IEC男子サッカー部全国collegeサッカー選手権大会九州予選準優勝 全国大会出場権獲得		7月	九州陸上競技選手権兼日本陸上競技選手権選考会出場
	8月	第28回IEC総合英語暗誦大会開催		8月	第16回全国collegeサッカー選手権大会九州予選準優勝
	10月	IEC男子サッカー部全国collegeサッカー選手権大会出場(八代市)		8月	第5回米国ケンタッキー州立大学との日米共同会議開催(日本)
	11月	第19回全国college卓球選手権大会女子シングルスベスト8		10月	第50回熊本県college体育大会男子シングルス優勝・準優勝
	11月	日米姉妹校研修プログラム:テキサス州ヒューストンにて八代市卓球選手権大会男子ダブルス優勝 男子シングルス準優勝 女子ダブルス優勝 女子シングルス優勝		10月	第33回社会人野球日本選手権九州予選出場
2004年	2月	IEC九州国際カレッジへ校名変更/硬式野球部発足		11月	第6回米国ケンタッキー州立大学との日米共同会議開催(米国)
	4月	第40回全国社会人サッカー選手権熊本県予選ベスト8		11月	第40回全日本社会人卓球選手権大会全国大会出場
	5月	米国ケンタッキー州立大学生来校(IECにて:IEC-UK文化交流プログラム)		11月	第28回九州ブロックcollege体育大会卓球出場
	6月	第14回全国専門学校サッカー選手権大会九州予選優勝	2007年	4月	第7回米国ケンタッキー州立大学との日米共同会議開催(日本)
	8月	第29回IEC総合英語暗誦大会開催		4月	八代陸上競技選手権女子走幅跳び2位
	9月	第48回熊本県college体育大会卓球シングルス優勝&準優勝 女子ダブルス優勝		4月	熊本県陸上競技選手権男子400mH4位 男子三段跳3位 女子やり投げ4位
	9月	第48回熊本県college体育大会サッカー準優勝		4月	全日本クラブ女子ソフトボール選手権大会県予選準優勝
	9月	第48回熊本県college体育大会バドミントン男子シングルス優勝 女子シングルス準優勝		5月	第43回全国社会人サッカー選手権熊本県予選出場
	10月	第14回全国collegeサッカー選手権大会出場(札幌市)		5月	第78回都市対抗野球九州予選出場
	10月	第26回全国college九州ブロック体育大会女子卓球シングルス優勝&準優勝 女子ダブルス優勝		5月	全日本クラブ選手権大会九州予選出場
	10月	第26回全国college九州ブロック体育大会サッカー優勝		5月	全日本総合選手権大会県予選準優勝
	10月	第26回全国college九州ブロック体育大会バドミントン男子シングルス第3位 女子シングルスベスト8		6月	米国ケンタッキー州立大学生来校(IECにて:IEC-UK文化交流プログラム)
	11月	第19回全国college卓球選手権大会卓球女子シングルス準優勝 女子ダブルス優勝!全国制覇!		6月	長崎県陸上競技選手権男子400mH優勝 男子三段跳2位
	11月	人吉球磨オープン卓球大会女子シングルス優勝 女子ダブルス優勝		7月	第32回IEC総合英語暗誦大会開催
	11月	日米姉妹校研修プログラム:ウイスコンシン大学、ケンタッキー大学にて		7月	全日本総合選手権大会九州大会出場
	12月	第39回熊本県サッカー地域リーグ戦ブロック優勝		8月	IEC硬式野球部茨城ゴールデンゴールズ(欽ちゃん球団)との試合開催藤崎台球場にて
2005年	2月	八代市卓球選手権大会女子シングルス優勝&準優勝 女子ダブルス優勝		8月	第17回全国collegeサッカー選手権大会九州予選準優勝
	4月	陸上部発足		8月	第42回熊本県サッカーリーグ出場(8~12月)
	4月	熊本県陸上競技選手権大会男子三段跳2位		9月	天草陸上競技選手権女子やり投げ優勝
	5月	第2回米国ケンタッキー州立大学との日米共同会議開催		9月	九州陸上競技選手権兼日本陸上競技選手権選考会5名出場
	7月	全国college野球選手権大会出場		10月	第51回熊本県college体育大会サッカー準優勝
	7月	国体陸上競技最終予選男子110mH3位		10月	第51回熊本県college体育大会卓球男子シングルス準優勝
	8月	第30回IEC総合英語暗誦大会開催		10月	第34回社会人野球日本選手権大会九州予選出場
	8月	第15回全国collegeサッカー選手権大会九州予選準優勝		11月	第8回米国ケンタッキー州立大学との日米共同会議開催(米国)
	8月	第40回熊本県サッカーリーグ出場(8~12月)		11月	第29回九州ブロックcollege体育大会サッカーの部出場
	9月	九州陸上競技選手権兼日本陸上競技選手権選考会10種競技8位		11月	第29回九州ブロックcollege体育大会卓球の部出場
	10月	第3回米国ケンタッキー州立大学との日米共同会議開催(米国)	2008年	1月	創立30周年式典
	10月	第49回熊本県college体育大会サッカー優勝		3月	第9回米国ケンタッキー州立大学との日米共同会議開催(米国)
	10月	第49回熊本県college体育大会卓球男子シングルス優勝・女子シングルス優勝		3月	第10回米国ケンタッキー州立大学との日米共同会議開催(日本)
	10月	第32回社会人野球日本選手権九州予選出場		4月	八代陸上競技選手権女子走幅跳び3位
				5月	熊本市陸上競技選手権4x100mリレー2位 4x400mリレー2位
				5月	女子ソフトボール部全日本総合選手権九州大会出場
				6月	国家資格特殊小型船舶操縦士(水上バイク海上救難救助)講習会
				6月	女子ソフトボール部全日本総合選手権九州大会出場
				7月	第33回IEC総合暗誦大会開催
				7月	米国ケンタッキー州立大学 キャラン博士(Dr. Karan)

2008年	8月	特別講演会(八代ハーモニーホール) 国際コミュニケーション学会・太平洋アジアコミュニケーション学会 日本コミュニケーション学会合同会議を八代にて開催	2015年	4月	コイ族・チベツ族の歴史調査訪問 全日制新学科設置:英語セールフォース学科/4年課程及びアスリート英語ビジネス学科4年課程設置
	8月	第18回collegeサッカー選手権大会九州予選3位		7月	第40回IEC総合英語暗誦大会開催
	8月	第43回熊本県サッカーリーグ戦開幕(～12月)		10月	日米国際親善サッカー試合in Wisconsin州:IEC熊本国際大学校 VS. Wisconsin州立大学/Iowa州:IEC熊本国際大学校 VS. Loras College大学
	8月	陸上部国体熊本県予選女子走り幅跳び3位 男子800m4位	2016年	6月	IEC熊本国際大学校創立40周年記念式典・祝賀会(熊本震災の為延期)
	8月	九州陸上競技選手権兼日本陸上競技選手権選考会出場		7月	第41回IEC総合英語暗誦大会開催
	9月	天草陸上競技選手権女子走り幅跳び優勝 男子400m5位 男子200m5位		12月	韓国KBS放送会社系列KBS-CollegeからのIEC熊本国際大学校への国際教育コラボ及び編入留学依頼会議
	10月	第52回熊本県college連合会体育大会サッカー優勝	2017年	1月	IEC熊本国際大学校創立40周年記念式典・祝賀会(1.7.)
	10月	第52回熊本県college連合会体育大会男子卓球個人優勝		2月	日韓国際親善試合 in Soul, 韓国で実施(2.7.): IEC熊本国際大学校 VS 韓国Digital Seoul Culture Arts University
	11月	国家資格特殊小型船舶操縦士(水上バイク海上救難救助)実技試験実施		3月	韓国KBS放送会社系列KBS-CollegeとのIECへの留学会議in韓国
	11月	第30回九州ブロックcollege体育大会(長崎県)サッカー男子卓球個人出場(サッカー部3位入賞)		3月	日韓高校国際ユースサッカー大会in熊本開催の実施決定の援助と企画
	12月	第43回熊本県サッカーリーグ戦3位		7月	第42回IEC総合英語暗誦大会開催
2009年	6月	女子ソフトボール部全日本総合選手権九州大会出場		7月	韓国KBS-College生徒10名来校
	7月	第34回IEC総合暗誦大会開催		8月	IEC援助・企画・国際交渉による日韓高校国際ユースサッカー大会in熊本開催実施(1-9日)
	8月	国際コミュニケーション学会・太平洋アジアコミュニケーション学会		8月	全国専門学校サッカー大会九州代表戦出場(21日)
	8月	九州陸上競技選手権兼日本陸上競技選手権選考会出場		8月	米国テキサス州ヒューストン子供癌センター病院訪問・大学・高校関係者との会議(24日)
	10月	第53回熊本県College体育大会サッカー優勝		8月	米国ハワイ州ハワイ島ハワイ州立大学にてIECとの次年度実施の国際親善サッカー大会及び研修会議(26日)
	11月	国家資格特殊小型船舶操縦士(水上バイク海上救難救助)実技試験実施	2018年	3月	日本伝統文化国際交流協会、米国ウイスコンシン州立大学で「吟詠」公演(7-11日)
	11月	第32回九州ブロックCollege体育大会(宮崎県)サッカー部・卓球部個人出場(サッカー部3位入賞)		11月	日本伝統文化国際交流協会、英国マンチェスター市郊外ローレンストール「ウィットカー博物館」にて「吟詠」公演(24-29日)
	12月	第43回熊本県サッカーリーグ戦3位	2019年	3月	日韓国際親善サッカー試合 in Soul, 韓国Seoul市で実施。(2-3日)
2010年	6月	米国ウイスコンシン州立大学及び米国ケンタッキー州立大学とグローバルコラボ教育推進協定		3月	日本吟詠総連盟四国支部徳島県理事長他会長10名と日本伝統文化国際交流協会への協力会議。(10日)
	7月	第35回IEC総合英語暗誦大会開催		3月	日本伝統文化国際交流協会理事長として、米国Houston市にて、「Purple Song Can Fly Project」創設者・理事長Anita K. Kruse代表及び「Asia Society Texas Center」日米文化交流の推進について会議(20-25日)
	10月	全国Collegeサッカー選手権3位		4月	日本伝統文化国際交流協会から世界伝統文化日本国際交流協会に名称変更(1日)
	11月	九州Collegeサッカー選手権優勝		6月	学校法人井本学園IEC熊本国際大学校の校名を学校法人井本学園国際文化教養大学校に改名決定。(1日)
	11月	国家資格特殊小型船舶操縦士(水上バイク海上救難救助)実技試験実施			【2年課程新学科名】国際英語伝統文化学科・国際英語教育学科・国際農林研究学科に改名決定(1日)
	11月	第32回九州ブロックCollege体育大会(沖縄県)優勝			【4年課程新学科名】国際英語教育学科4年課程に改名決定(1日)
	12月	IEC総合X'mas Party開催:韓国「春秋民族館」館長チョウ・テヒ氏他 計3人の舞踏家招待		8月	IEC国際文化教養大学校と世界伝統文化日本国際交流協会Texas州Houston市にてTitanic映画音楽のProducer「Robbie Parrish代表との日本公演ショーステージ最終公演内容プログラム会議及び協会テーマソング収録(26-31日)
2011年	6月	IEC国際教育「アジア・太平洋コミュニケーション学科設置」		11月	IEC国際文化教養大学校後援日米合同ステージショー開催in 熊本県宇城市松橋、芦北町(30-12/1日)
	6月	米国Wisconsin州立大学地理学部教授 Dr. Todd Stradford 基調講演「グローバル社会と日本地方経済」	2020年	4月	学校法人井本学園IEC国際文化教養大学校に校名変更(旧名:IEC熊本国際大学校)
	7月	第36回IEC総合英語暗誦大会開催		7月	IEC国際文化教養大学校主催第46回総合英語暗誦大会(審査3名:米国海軍西太平洋海上訓練上級指導官2名他)
	7月	韓国沃川商業高等学校と姉妹校調印式		7月	IEC全日学生校外英語通訳・ガイド研修:米軍上級指導官達への案内 (八代市内)
	7月	韓国「春秋民族館」と文化交流提携調印式		7月	IEC付帯教育事業夜間部英会話科「Miracle Heart」英語曲完成(米国Texas Houstonで収録)
	10月	熊本国際大学校へ校名変更	2021年	4月	IEC国際文化教養大学校主催第4回総合英語暗誦大会(審査3名:米国海軍西太平洋海上訓練上級指導官2名他)
2012年	4月	国際生涯健康管理科学学科新設		7月	IEC全日学生校外英語通訳・ガイド研修(鹿児島県内)
	4月	学校法人井本学園IEC熊本国際大学校スタート		10月	IEC全日学生校外英語通訳・ガイド研修(宮崎県内)
	7月	第37回IEC総合英語暗誦大会開催		11月	IEC国際文化教養大学校主催日本伝統文化ステージショーin 芦北 (全日学生司会)
	7月	IEC男子サッカー部全国大会出場決定	2022年	4月	IEC国際文化教養大学校にベトナム人留学生達入学
	7月	IEC女子ソフトボール部全国大会出場		7月	校外英語通訳・ガイド研修(熊本県内)
	11月	IEC男子サッカー部全国大会出場		11月	世界伝統文化日本国際交流主催日本伝統文化ステージショーin 八代 (全日学生司会)
	11月	IEC女子ソフトボール部米国ハワイ州立大学と親善試合(ハワイ州立大学)	2023年	10月	IEC国際文化教養大学校主催日米国際文化ステージショーin 八代開催予定 (全日学生司会)
2013年	11月	全日生徒実践研修実施			
	2月	全日総合スポーツ科学学科高齢者健康スポーツ実践実習			
	2月	全日全学生企業研修			
	3月	Total Fashion & Beauty Coordinator学科募集開始(2年課程)			
	7月	IEC女子ソフトボール部全国大会県・九州予選敗退			
	7月	第38回IEC総合英語暗誦大会開催			
	7月	IEC男子サッカー部全国大会出場決定			
	7月	韓国:韓国五松市・オクチョン市・太田市等で、韓国9校でIEC熊本国際大学校への留学説明会、全校長達との親睦懇談会			
	9月	新米国人講師本校で指導開始			
	10月	米国Wisconsin州・ミネソタ州・アイオワ州・イリノイ州及びアリゾナ州研修			
	10月	本校姉妹校米国ウイスコンシン州立大学で教育会議、アリゾナ州地理・歴史学研修訪問			
	11月	IEC男子サッカー部全国大会出場			
	11月	全日生徒実践研修実施			
2014年	7月	日本国際生涯健康管理科学学会開催:熊本県八代市IEC熊本国際大学校(7.20.)			
	7月	第39回IEC総合英語暗誦大会第大会開催			
	8月	カナダのカルガリー市にてブラックフット族の歴史調査訪問			
	12月	米国Maryland州・Washington DC等にて先住民イロ			



IEC 国際文化教養大学校

IEC International College of Culture & Education

米国 University of Wisconsin 姉妹校 University of Kentucky 学術協力校

学校法人 IEC 国際文化教養大学校 卒業生就職・進路先概略

創立46年を数えることにより、多くの卒業生達が様々な分野に就いています。現在まで、多くの分野の学科を創設し、時代の急速な変化に合わせ新学科への設置も実施してまいりました。時代の状況に応じ学生達の希望する職種への対応も難しいことも多々ありました。

これを解決するために多くの年月を費やし、ようやく米国大学とも合同研究と協力により、大きく二つの方向に動き始めました。一つは、日本を始め世界のグローバル的動きと変化情報を逐次把握し続け、その内容を学生達にリアルタイムで伝え流すこと。もう一つは、指導教員の日々の研究と学生達への指導結果を出すことです。今後も学生達の立場に立ち、希望の職に就けることを実践してまいります。

以下に卒業生達の就職先を一部列記致しましたが、同一分野職に就いたものも多くあり、また、過去40年もの間に職種を変えたものもいますので、ご了承ください。

外務省	八代広域行政組合消防本部
航空管制官	徳洲会病院グループ
JAL 航空(地上職)	トヨタ自動車
ASIANA 航空	日産自動車
米国ウイソコンシン州立大学 Platteville 校 留学	TAKASUGI 株式会社
米国ウイソコンシン州立大学 Madison 校 留学	富士ダイス株式会社(東京)
ケンタッキー州立大学院留学	株式会社メビウス製薬
ハワイ州立大学留学	株式会社ネグシーズ(東京エネルギー環境関連・電子メディア)
オーストラリアブリスベン大学	株式会社エイジェックー建設事業本部(福岡)
株式会社ツアーアラカルト(国際関連旅行会社)	株式会社オーリック
熊本県警察	シモカワグループ(株)F&B
IEC 熊本国際大学校	株式会社ファクターージャパン
小学校教員	太陽スポーツクラブ
中学校教員	ベストスイミングスクール
高校教員	フィットネスクラブ BEST
個人英語塾設立	シラサギ(居宅介護支援事業所)
熊本 YMCA	特別養護老人ホーム安寿の里
竹田市役所	昭和金属伊万里事業所
八代市役所	KARAPA ファクトリー整体
熊本総合体育館	自営業後継ぎ
Jーリーグサンフレッチェサッカー指導者	日本料理料亭後継ぎ
自衛隊	

お問い合わせ

学校法人 井本学園 入試事務局

住所：熊本県八代市日置町 6 5 1 1

電話：0965-35-5430

FAX：0965-32-0232

HP:<http://iec-college.ac.jp>

E-mail:info1@iec-college.ac.jp

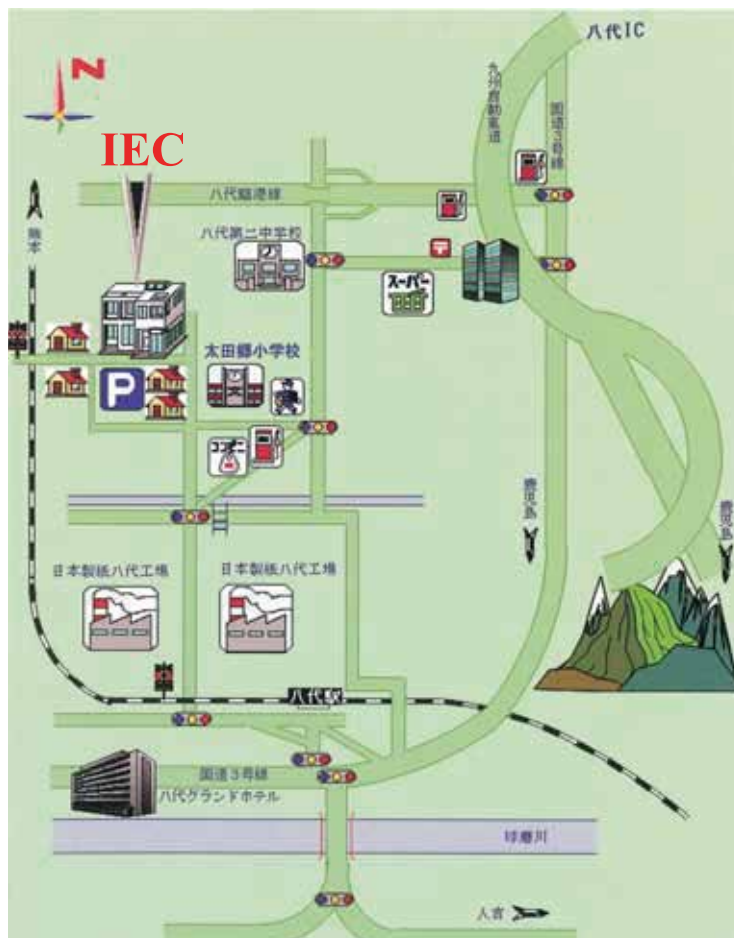
アクセス

電車：JR八代駅下車徒歩 5 分、JR新八代駅下車徒歩15分

車：九州自動車道八代ICを八代市内（鹿児島）方面の国道

3号線に降り、500mほど先の2つ目の信号を右折し直進。

Tの路の所（正面八代第二中学校）を左折し約1分。八代ICから5分。



INTERNATIONAL

**COLLABORATION
DISCUSSION**

**FLIPPED CLASSROOM
EXCHANGE PROGRAM**

アントレプレイナー時代教育

世界各国の人びとが混じり合う多様性文化
英語で話し理解し、チャレンジ精神や
創造性などをもとに、変革を行う
グローバルビジネス社会に求められる人材を育てる



**学校法人井本学園
IEC国際文化教養大学校
IEC International College of Culture & Education**

〒866-0896 熊本県八代市日置町651-1
電話: 0965-35-5430 FAX: 0965-32-0232
E-mail: info1@iec-college.ac.jp HP: <http://iec-college.ac.jp>